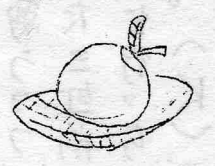


獣と神との調和へ

下川原農業共同経営の場合



下川原は米坂線菟生駅から約二キロ離れた白川に沿う7戸の村落で、このうち4戸の農家が共同経営を始め、本年が1年目である。現在の経営内容は米作と酪農である。水田面積は一・五ヘクタールの中に法人所有が一・六ヘクタール、請負耕作一・五haある。本年の米作休耕面積は五・〇haで、減反割当の二倍余に達し、牧草を栽培している。乳牛は三頭あり(昨年一六頭)、このうち搾乳牛二頭(昨年一頭下、近代設備をもつ牛舎で飼育している。三年後には搾乳牛を五〇頭とし、田地二〇haに相当する粗収入をあげている。牧草地は二キロ離れた区有地に三六ha経営し、飼料の自給度を高めている。

現在の労効力は男五人、女四人計九人であるが、米作も酪農も機械化しているから、労効の生産性は極めて高い。近い将来において米作二〇ha、一〇a当り八万円の粗収入として年一六〇〇万円、搾乳牛五〇頭で日産一トンの牛乳代が五万円、一ヶ月一五〇万円、年一八〇〇万円、米と牛乳の粗収入を半々とすることを目標としている。運営は総会が最高決議機関で、代表理事が法人を代表して全体を統轄し、総務部・農産部(これは、稲作・飼料作物・機械にわけて各主任をおく)、酪農部(これは搾乳・育成にわけて各主任をおく)生活部の四部に分かれ、全体の月例協議会が開かれ、ほかに各部の話し合いが随時行なわれる。集会は共同炊事場の二階で、そこが本部にもなっている。

労効とその評価

最も問題となる利益配分と家族生活費は毎年の剰余金の半分以上とする事になつており、本年は月に男三万円、女二・五万円支給されてゐる。年度末決算において各人の年商労効日数、労務の内容責任の程度において配分される金額と給与年額との精算がおこなわれる。ほかに現物出資(土地・建物

に対する配当が年六分以内で支払われる。労効日数は本人と各主任が、三十分刻みで記帳しているが、今まで違ったことはいない。老人でも子供でも、好きな時に休めば、それに対する賃金ももらえる。

労効の男女差については、男一に対し女〇・九一般の農村では〇・八としてゐる。本年は一戸当り月平均八万二、八、五万円の生活費に充てる予想である。組合は家族の生活内容に對して、農業期の共同炊事のほかは全く干渉せず、各家庭の自由任せである。昭和四十五年九月制定された、本年一月から実施された下川原農事組合法人定款の前文に、昭和三年から十年間、一度も共同経営の要を認めなかったとし、「美しい豊かな理想の村を実現することには決して不可能でないことを確信するに至つた」と述べてゐるのは、十年間の実績の上に立つての自信である。

武者小路実篤の「新しき村」が本学(大東文化大)東松山校舎に近い毛呂山町葛貫へつづらぬきにあるが、南村十二年目になるけれども、同氏の理想の村からほゞ遠い段階である。下川原の共同経営が全国農業コソソルルにおいて才一位と取つたのは、共同経営として成功してゐるだけであく、地域社会におよぼした影響が極めて大きいという功績が認められたからである。昭和三五年、わが国の米の過剰を予測し米単作からの脱皮を酪農に求めて牧野を南き、昭和三七年、労効力の不足を予知して東北地方では最初に自費で田地一枚の面積を三〇aに造成して機械化農業を実現したことがある。下川原のこれらの先駆的の事業が核となり、白川左岸土地改良事業として五〇〇haの美田が生まれ、眺山一五〇haの大規模草地改良事業となり、白川総合開発事業として多目的ダムを中心とする建設が進んでゐる。

自己変革

下川原の農民たちが事実をもつても心と物に豊かな生活を示しているにもかかわらず、これを真習う農民が

この地方から出てゐない。他の農村の人たちは、「下川原の人間は人種が違ふ」という。米の生産調整で飯豊町に割り当てられた面積は三五〇haであるが、農民の中には減反を承諾しながらも、そり作付けし、減反奨励金をもらうことも、そこから収穫した米代金をも手に入れようとし、あと半月もすれば奥の入った稲刈りができる時になつて、行政当局の監視のもとに無残に刈り倒されていくのを見たが、このような農民の目からは下川原の人間は人種が違ふと見えるのだから。同じ場所に住んでゐる同じ農民でありながら、どうしてこんなに違ふのであろうか。このやを實際に見ると、やはり人間の間に問題がある。ここに人間変革の課題が正面に出る。

ゆゑのことにするが、教育とは正に人間変革の課題を解こうとする実践であるといふことだけは付け加えておくこととする。

吉田義信(経済学部教授)
大東文化十一用より

研究九 A.M. 5:30

★ 労効問題研究会はすでに4回を終え、オ5回のは、1月15日(土)午後6時〜9時、於大阪府立労効会館(京阪or地下鉄天橋橋下車徒歩5分) テキストはマルクス著「経哲草稿」の「労効の課外」について

★ 共同体社会主義研究会は滝村隆一著「マルクス主義国家論」をテキストに研究会を続けてゐるか、近くその成果の一部を校閲紙で共同体社会主義で発表する。申し込みは15円切手同封のうえ、へ大阪市旭区高殿郵便局留白連大阪貸付共同体社会主義研究会まで。

★ 柳良は神戸市東灘木北青木2の6の38山根孝子貸付柳良社から入る。